

第1回（仮称）苫小牧市民ホールWG 合同会議

【活動WG】議事要旨

日 時：平成28年7月4日（月）14：40～16：00

場 所：本庁舎2階 21会議室

出 席：委 員2名、事務局2名、北 大2名

■文化・芸術活動に対する苫小牧市民の認識や関心

文化・芸術に触れ合う入り口をどのように作るのか

- 地域に音楽や文化が根付いている関東地方は、入場料などの値段によらず演奏会などに人が集まりやすい。苫小牧では、音楽に対する敷居が高いのか、人が集まりにくい印象がある。音楽施設としてではなく、複合施設とすることで人が集まりやすくなるのでは。
- 文化施設は、誰がどのような目的で使うのかという議論がないまま設立されてきたのではないかと。スポーツ施設と文化施設のバランスも大事だろう。
- 個人的にずっとスポーツをやっている文化・芸術分野には縁遠い。そのような境遇の人も含め、誰もが訪れることができる場所であることが望ましい。訪れた先で、文化・芸術に触れ合う入り口をどう作っていきけるかを考えていきたい。

■苫小牧市の施設の現状と課題

人口17万人の都市に適正な施設の規模とは

- 大きい施設を作ればいいという発想で建てられた市民会館の大ホール（現在1,630席）は、できた当時は市民にとっても自慢だったが、現在大ホールの稼働率は低い。矛盾をはらんだ施設の現状を市民がどう考えているかがヒントにつながる。
- 多目的は無目的だからこそ具体的にどんな活動をするのかという議論が必要。
- プロのための施設ではなく、市民のための活動の場に適する規模のホールがいくつか必要。例えば、市内にある100人収容のホールは、誰でも気軽に行ける・市民が憩える空間がある。市が税金で運営して無料であれば、人も集まってくる。
- 一方で、音響設備などがきちんと整っている文化的な施設が（500人くらい入れるような）、少数でもあればいいのでは。
- 苫小牧は東西に長い地形。遠く離れた場所に住む人がわざわざ訪れようと思うかどうかも問題。

適正な施設の料金とは

- 現在、苫小牧には無料の演奏室と、有料のホールの2種類がある。演奏する側としては、来る人数が把握・確保できるため少しでも入場料をとる部屋の方が使い勝手がよいのだが、苫小牧の有料のホールは価格設定が高い。札幌では5,000円くらいの利用料のものがあるが、それくらいの

規模のホールがありがたい。聴きにくる人の気軽さも大事だが、演奏する側が使いやすいことも重要なのではないかと思う。

- 関東では、音楽ホール専用の施設や教育文化会館などの公共的な施設を利用していた。1,200人収容のホールで、チケット料金1,000円程度で、500~1,000人は席が埋まる。関東では演奏会の相場は2,000円くらいだが、それでも人が来ていた。
- 興行的には1,600人が、採算のラインである。苫小牧市の市民会館大ホールの稼働率は25~30%で、1年間で満席になる回数は8回程度である。

入場料が安く、市民が気軽に入れる施設を

- 市内のある場所では小さなホールにピアノが置いて、無料で使える。初めは3人しか入らないような演奏会もあったが、次第に定着してきて、100人規模のホールに民謡・クラシックでも満席になるくらい人が集まる。
- 「今日タダだから、どうぞ入って」という気軽さ、カジュアルさがサードプレイスにつながる。
- ピアノバーのように、ふらっと入れる場で演奏会があるくらいのカジュアルさが、毎日ではないが定期的に訪れられるサードプレイスなのかもしれない。

■高齢者にとってのサードプレイスとは

現状ではゲームセンター、パチンコ店をサードプレイス

- 退職後に(サードプレイスならぬ)セカンドプレイスがなくなるのは非常に切実な問題。どこをセカンドプレイスとするのか。
- 高齢者の居場所は、図書館が多いのではないかと？
- ゲームセンターに通う高齢者が多い。一定のメダルは預けることも可能。演奏会よりもゲームセンターに行きたがる高齢者が苫小牧には多いのかもしれない。
- パチンコ店が他の地域に比べて多いが、平日でも人がある程度いるため潰れずに営業している。今はそちらの方に人が流れている。
- 名古屋では、モーニングサービスタイムの喫茶店に高齢者が大勢いる。

■若者にとってのサードプレイスとは

ゲームセンター、フードコート、無料バスのあるイオンをサードプレイス

- ゲームセンターもあるし、フードコートもあるし、苫小牧の中高生はイオンをサードプレイスとしている。
- 無料バスも出ているし、イオンをサードプレイスとする若者は多いだろう。
- 高校生・大学生くらいになると、交通機関を利用して札幌まで遊びに行くようになる。

飲食可能なスペースの有効性

- 若い人は、ご飯を食べるところがある方が行きやすい。札幌市のホールも、近くに飲食店が多い。

苫小牧のホールは、近くに科学館や市役所はあるが飲食できる場所が少ない。

- 飲食店は、入ると必ず注文しないといけない。フードコートのように、必要な時に頼めるような場所のほうが人は集まりやすいのでは。
- 芝生に入れなかったり飲食を禁止したりする場所もあるが、そういう禁止事項を排除して、どうぞ来てくださいという姿勢がとても大事。飲食可能にすればもっと人が集まるだろう。
- 岐阜のメディアコスモスにはスターバックスが入っている。イーテインもテイクアウトも可能。コンビニもある。

■マネジメントの重要性

マネジメントの仕方、組織

- 演奏会の質と入場料と稼働率のバランスは非常に難しく、正解はない。満席になるくらいの稼働率を実現できるかどうかはマネジメントにかかっている。障害者と音楽を組み合わせたり、昼夜の利用バランスだったり、発想を変える必要がある。WG では、いろいろなアイデア出しやマネジメントの仕方を考えていく場にしたい。
- どのような市民がどのような活動をするか、という議論をきちんとすべき。その議論をせずに建てられた文化施設は、マネジメントの意識がなく貸館としてしか機能していないのではないかと。マネジメントの組織が必要。その組織で何をすべきかを今後は考えていかないといけない。

■今後のスケジュール

次 回 (第2回) : 8月16日 (火) 14:00～ @市役所2階21会議室

次々回 (第3回) : 9月26日 (月) 14:00～ @市役所2階21会議室